

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立あさひワークホーム	所管課	障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3294	設置年月日 (改築年月日等)	昭和58年5月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨県障害者援護協会、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	機能訓練室、食堂、会議室、浴室、居間(4室)、静養室、トラックヤード、第1作業棟、第2作業棟、休憩・更衣室、製品置き場、居室(50室)、事務室、厨房、倉庫等 就労移行支援(30名)、就労継続B型(30名)、施設入所支援(40名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・就労移行支援・就労継続B型・施設入所支援 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	○山梨県立あけぼの医療福祉センター (重症心身障害児入所(60)・通所(15)、肢体不自由児入所(20)・通園(10)) ○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
---------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	利用者数(入所)	48			
	利用者数(通所)	20			
	就労移行支援		29	30	30
	就労継続支援B型		26	31	30
	施設入所支援		42	38	40
	利用者数合計	68	97	99	
	目標値				
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
	対20年度比	100.0%	142.3%	145.6%	0.0%
	稼働率	68.0%	97.0%	99.0%	100.0%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	138,703,443	132,200,000	140,610,353	132,200,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	22,953,475	21,990,000	34,896,346	21,990,000
	収入合計(A)	161,656,918	154,190,000	175,506,699	154,190,000
支出	人件費	76,527,668	86,890,000	86,542,633	86,890,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	50,520,697	67,300,000	61,242,577	67,300,000
	(うち外部委託費)(B)	1,248,312		1,388,415	
	支出合計(C)	127,048,365	154,190,000	147,785,210	154,190,000
収支差額(A-C)		34,608,553	0	27,721,489	0
外部委託比率(B÷C)		1.0%	0.0%	0.9%	0.0%
利用者一人当りの経費		0	#DIV/0!	0	#DIV/0!

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年3月、 実施方法:利用者へのアンケート、 回答数:40人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	82.9%	0.0%	7.3%	9.8%
行事等	97.6%	0.0%	0.0%	2.4%
食事面	85.4%	0.0%	4.9%	9.8%
入浴支援	65.9%	0.0%	2.4%	31.7%
健康管理面	85.4%	0.0%	0.0%	14.6%
利用者のケア	82.9%	0.0%	4.9%	12.2%
金銭管理	36.6%	0.0%	0.0%	63.4%
その他	87.8%	0.0%	2.4%	9.8%
各項目の平均	78.1%	0.0%	2.7%	19.2%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 各居室の流し台や洗面所などが汚れていることがあり、不衛生である。 食事はセレクトメニューにより、いろいろな献立が楽しめる。 浴室のシャワーが改良され、使いやすくなった。 年度末のインフルエンザは大変だった。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> 衛生面での不満を軽減するため、職員による毎朝のチェックを確実に実施した。 利用者からの意見や要望が適切に反映できるよう、毎月の給食委員会を開催した。 年数経過による各設備の老朽化等の問題について、利用者からの要望を随時受入れ、修繕を行った。 利用者13人がインフルエンザに感染・発症。施設外への蔓延を防止するとともにサーベイランス体制に基づき、保健所・県所管課へ報告、適切な対応に努めた。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。 施設・設備の老朽化が目立つため、利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に県に報告すること。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	韮崎市・北杜市・南アルプス市と日中一時支援事業を、また韮崎市とは相談支援事業についても契約を締結し在宅障害者への支援を行ったが、事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	自主事業申請(業務計画書)どおり適正に実施されている。
利用状況	各サービス事業とも年間を通じて概ね事業計画を上回る利用実績を上げている。 ・施設入所支援97.6% ・就労移行支援101.6% ・就労継続支援104.6%	利用状況についての情報をホームページ上で随時更新し、施設の利用促進のためのPRに努めている。県内外からの問い合わせもあり、今後も引き続き関係機関との連携も含め、努力されたい。
収支状況	収入はやや増加したものの、施設・設備の老朽化により修繕費が著しく増加した。節電の徹底等、職員の努力により経費節減に努め、収支差額は前年度比111.2%と増加した。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。 今後も施設・設備の老朽化に伴い、修繕費が増加することが予想されるため、計画的な修繕及び経費の節減に努力されたい。
利用者満足度	ほとんどの項目で利用者より「満足している」との回答が出ている。今後においても利用者の視点に立ったサービスの提供に心をかけていく。	利用者からの評価は高く、利用者満足調査で「満足・十分」の平均が78.1%と、概ね満足していると考えられる。利用者からの指摘のうち対応可能なものについては随時対応するなど、利用者の視点に立った運営がなされている。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	①施設の老朽化に伴う維持管理についてはその都度改善しており、施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行した。 ②経費削減に努めるとともに、サービス利用に繋げる努力が実り増収となった。 ③利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努力した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	①条例、協定等に基づき適正な執行を行った。施設・設備の老朽化が目立つが、利用者の安全や利便性に留意し、随時、修繕を行なった。 ②新たなサービス利用者の確保を行うとともに経費削減に努力した。 ③利用者個々のニーズに対応できるよう努力した。	

7. 管理体制(組織図)

山梨県立あさひワークホーム 組織図

